

第1章 計画の位置づけ

- 1 計画策定の根拠
- 2 計画の推進・評価
- 3 計画の見直し

第2章 消費者行政をめぐる現状と課題

- 1 消費者を取り巻く社会情勢の変化
(デジタル社会の進展、高齢化・世帯の単身化の進行、グローバル化の進展、SDGs達成への前進、消費者庁新未来戦略創造本部との連携など)
- 2 県における消費生活相談の状況

第3章 計画の基本方針

- 1 基本理念
「誰一人取り残さない」安全・安心な消費生活の確保と
未来へ引き継ぐ持続可能な社会の実現
- 2 基本方針
 - 1) 自ら「学び」「考え」「行動できる」消費者による
ウェルビーイングの実現
 - 2) 急速に変容する社会における消費生活リスクへの対応
 - 3) 多様な主体との連携による先駆的消費者行政の推進
- 3 計画の体系

第4章 施策の展開

- 1 AI・デジタル技術の進展に応じた全世代への消費者教育の推進
- 2 持続可能な消費者市民社会の構築
- 3 安全・安心な消費生活の確保
- 4 消費者被害の未然防止と早期救済
- 5 消費者庁新未来創造戦略本部等との連携による次世代施策の展開

第1章 計画の位置づけ

- 1 計画策定の根拠
- 2 計画の推進・評価
- 3 計画の見直し

第2章 消費者行政・消費者教育の取組実績及び成果

- 1 消費者庁新未来創造戦略本部の開設
- 2 成年年齢引き下げを見据えた消費者教育の推進
- 3 エシカル消費の普及
- 4 消費者志向経営の推進
- 5 見守りネットワーク（消費者安全確保地域協議会）の構築
- 6 消費生活相談体制の充実・強化
- 7 徳島モデルの全国発信と国際連携の推進

第3章 消費者行政をめぐる現状と課題

- 1 総論
- 2 各論(デジタル社会への対応、高齢化・世帯の単身化・過疎化への対応、
成年年齢引き下げへの対応、アフターコロナへの対応、自然災害の
多発化と備え、消費者庁新未来創造本部との連携、グローバルな
視点からの施策展開、SDGs達成への前進)

第4章 計画の基本方針

- 1 基本理念
「デジタル社会の進展」や「SDGsの達成」、「アフターコロナの到来」を見据え、本県における「消費者利益の擁護と増進」及び「消費者の自立支援」をより一層図り、県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを推進するため、
・「全世代への消費者教育」を軸とする「消費者市民社会」の形成
・先駆的な「エシカル消費」と「消費者志向経営」の実践など、
「新次元の消費者行政・消費者教育」を一体的かつ計画的に推進する「新たな羅針盤」として、本計画を策定する。
- 2 計画の体系
- 3 地方創生の実現

第5章 消費者施策の事項

- 1 横断的事項
 - 1) デジタル時代に即した「全世代への消費者教育」
 - 2) 徳島を実証フィールドとする「戦略本部との連携」
- 2 施策の柱
 - 3) 持続可能な消費者市民社会の構築
 - 4) 消費者と事業者との協働による安全・安心な社会の実現
 - 5) デジタル社会を見据えた消費者被害の防止
 - 6) 国際拠点化の推進